



小平 美智雄  
(市民連合)

**子ども・子育て支援の総合コーディネートネットを**

**問** 市は全国でもトップレベルの子育て支援策を講じているが、多種多様な支援サービスがある反面、就労形態や身近な子育て支援者の有無など、個々の家庭の子育て環境に違いもある。

多様な子育て支援サービスを一元的に把握し、保護者への情報提供やケアスマネジメント、利用援助等を行い利便性の向上と、円滑化を図るための制度として「子育て支援総合コーディネート事業」の実施の早期導入を検討する必要があるのではないか。

**答** 地域子育て支援の拠点として子育てサロンを

設置し、子育ての相談・指導や育児不安の解消、幼稚園・保育園の情報提供や地区市民センターに保育士を配置し在宅児への支援に取り組んでいる。

現在、国で2年後のスタートを目指し検討している「子ども・子育て支援新制度」を踏まえ、サービスの供給体制の確保だけでなく、様々な保育サービスや保育資源を利用者ニーズに合わせてコーディネートし、提供することができるよう、現在の子育てサロン機能の充実・強化を図りながら、総合的なコーディネート事業の実施に向けて、具体的な検討を進めている。

**その他の質問項目**

- ① LRTとネットワーク型コンパクトシティ（東部地区渋滞対策調査ほか）
- ② 納税環境の整備
- ③ 高齢者福祉施策（高齢者福祉施設の整備、高齢化社会を見据えた住宅施策、老人福祉センターほか）
- ④ 姿川地区の地域課題（歴史・文化拠点の案内板整備ほか）



菊地 公史  
(公明党)

**LRTの導入への情報提供を**

**問** LRTの導入に向けて、今年度から本格的な取り組みがスタートした。

① 芳賀町、市貝町、茂木町から将来的な芳賀郡方面への延伸も見据えた、LRT整備についての強い要望があると伺っているが、東部地区の渋滞問題を、根本的に解消するためには、少なくとも芳賀工業団地への乗り入れは最重要課題ではないかと考えるがどうか。

② 市民へ理解促進の為、地域の自治会や、団体などを通じて粘り強く発信し続けていくことが重要だと考えるがどうか。

**答** ①今年度、工業団地

の通勤バスを含めた公共交通利用者実態調査などを進める中で、芳賀町・市貝町・茂木町からの要望も踏まえ、計画区間の東側周辺のニーズも含めて、様々な情報収集をおこなっていく。

② LRT事業推進にあたり、市が目指しているまちづくりや、公共交通の重要性について継続的に発信していく。今年度の事業化に向けた具体的な調査の内容についても、その進捗状況に応じて、引き続きオープンハウスや出前講座を開催するなど、あらゆる機会を通じて、市民への確かな情報を提供していきたい。



▲柳田大橋付近の渋滞の様子

**その他の質問項目**

- ① 空き地の有効活用
- ② 健康寿命の延伸への取り組み
- ③ 再生可能エネルギーの地産地消
- ④ 農業王国うつのみやをめざす、農業の活性化
- ⑤ 通学路の安全対策



福田 久美子  
(共産党)

**技能労働者の賃上げに向け、具体的な取り組みは**

**問** 国土交通省は、3月29日に前年比15%増とした、公共工事設計労務単価を発表するとともに、都道府県及び建設業界団体に対し、技能労働者の賃金引上げについて、①法定福利費の適切な支払と社会保険などへの加入徹底に関する指導、②ダンプینگ受注の排除、③新労務単価の早期適用の3点を要請した。

これを踏まえ、市では5月28日に新単価による引き上げを4月1日にさかのぼって対応すると特別措置を公表したが、下請業者の賃金にも確実に反映されるよう具体的などのような対応をとるのか。

**答** 国の対応を踏まえ、市では、4月1日にさかのぼって新単価を適用する特別措置を実施したが、実施にあたっては、市内全ての建設業団体により構成されている「宇都宮市建設産業団体連絡協議会」を通じて、構成団体や各業者に対し周知徹底を図るとともに、協議会との意見交換会の場などにおいて適切に対応するよう直接、要請してきた。

今後とも、適正な賃金が確保されるよう適宜実施状況について意見交換などをしていく。



**その他の質問項目**

- ① 市長の政治姿勢（職員給与の減額、TTP交渉参加による宇都宮の農業と食の安全への影響）
- ② 市職員OBの再就職をめぐる問題
- ③ だれもが安心して暮らせる医療制度（子ども医療費助成制度の拡充ほか）
- ④ 生活保護行政
- ⑤ DV対策
- ⑥ 体罰をめぐ